

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	施設理念の玄関での掲示がなく、また事業所やユニットの目標もご家族や地域の方の目につく場所がないことから、施設理念、事業所やユニットの目標が外部の方から分かりにくい状況にある。	宝生苑に来る誰もが施設理念を目にする機会があり、またグループホームの事業目標や各ユニット目標がユニット玄関付近に掲示されている。	<ul style="list-style-type: none"> 施設理念の玄関での掲示 事業所及びユニットの目標を各ユニットの玄関及び外来者の目に触れやすいところに掲示する 	1ヶ月
2	20	面会制限をしているため、入居者様のご様子をご家族に伝わりにくい。	コロナ禍にあっても何らかの形で面会できる環境をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ご家族の意向や意見を聞き、面会の工夫に役立てられないか検討する。 感染対策と顔が見える環境での面会が両立できるよう施設全体で検討し実行する。 	3ヶ月
3	30	緊急時の初期行動を把握し、対応ができるか、スタッフの力量に差があるように思われる。	体調の急変があった際など、全スタッフが緊急時の手順に従って行動でき、医療との連携を図ることで入居者様の暮らしが維持できる。	<p>ユニット会議で緊急対応マニュアルの伝達研修を行う。1度限りの研修では行動できるようにならないため、以下の括弧書きの内容を身に付けることが出来るよう繰り返し研修をしていく。</p> <p>（入居者様の既往、現病歴や服薬状況、日常的なバイタルを理解していることが異常の早期発見に繋がること。異常にいち早く気づき、対応。医療と連携することが早期治療、QOLの維持に繋がることから観察力を高めていく必要がある。）</p>	6ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。